

東北復興支援 2011-2013



大船渡幼稚園の
みんなと楽しい
アートフットボールの
ひと時をおくりました。



大船渡でフオス
タジオを営む佐藤
家の朝ごはんを
忘れない

2011年11月1日 塩釜市より表彰。

被災者への支援活動をしたことに塩釜市から表彰され、感謝状を頂きました。
これは被災者支援で塩釜の小中学生40名を支援隊リーダー三浦雄一郎理事長と三浦豪太隊長が「希望の光」を目指し、てっぺんに登るもの。OTTYも映像、イベント係で支援。初登山、初富士山、初三浦ドルフィンズの同行はありえない幸運。なお、富士山頂アートフットボールショーを被災者メンバーへ見せることができ本望であった。



2013年3月10日、都筑区センター北駅前東
東北復興支援「わすれない3.11」でアートフ
ットボールショーを披露して募金を集めた。
(右は神奈川新聞掲載記事。)

平成23年度障がい者
スポーツ特別振興事業
「サッカー体験交流会」

小山さん 山川さん OTTY



平成24年3月27日(火)、岩手県盛岡市青山の「勤労身体障がい者体育館」へ復興支援に行ってきました。講師としてOTTY、ラポールでおなじみの小山 良隆さん(知的障がい者サッカー日本代表チーム「プライド・イン・ブルー」コーチ)、小山さんの上司で偉い部長の山川 洋さん(元東京ヴェルディ、元長野パラリンピックアルペン日本代表監督)の福祉スポーツのエキスパート3人。

2012年4月15日(日)「第3回スポレクやっぺし！」

「ONE PIECE」(ワンピース)のウソップの声優山口勝平(カッペイ)氏が炊き出しのお手伝いに参加。ワンピースの仲間たちからの応援メッセージを届ける。
●スポーツチャレンジコーナーはOTTYがフットサル大会を開き、湘南ベルマーレフットサル選手の唐澤広彰氏、ビーチサッカー日本代表の若林邦広氏が最高のプレーを見せて子どもたちに希望を持たせる。www.gsa.or.jp/pdf/srp_yapeshi_3.pdf



2012年10月28日(日)
GSA「第4回スポレクやっぺし！」
ショータイムは明和保育園の皆さんの可愛く、素晴らしい太鼓演奏、OTTYと高谷秀司氏がアートフットボールとアコースティックギターで息をもぴったり合わせて盛り上げた。



東北復興支援 2011-2013

「被災者心身ケア・アートフットボールプログラム」実績

(FCUの提案した震災復興スポーツ)



2011年7月15日(日)「第2回スポレクやっぺし！」

主催：NPOグローバル・スポーツ・アライアンス、やっぺし実行委員会 後援：大船渡市教育委員会、(財)大船渡市体育協会 協賛：PIMCO PARTNERS JAPAN 協力：大船渡市内各小中学校/大船渡市体育指導員協議会/大船渡市卓球協会/東海新聞社/シヤチハタ株式会社/株式会社ヒーロー/絆コレクションネットワーク/バカラパンフィック株式会社/がんばらば隊/セカンドハーベスト・ジャパン/株式会社ゴールドウイン/Project move4 Japan/株式会社イグフィコレーション/テニスサポートセンター/大船渡サポートネットワーク・センター/ NPO法人FCUスポーツクラブ 他



遊ぶ場所がなくても
できる健康づくりアート
フットボールを東北の
子たちへ伝える。

日本経済新聞より、三浦 豪太さんが連載するコラム「探検学校」でアートフットボールの記事を掲載して下さった。

被災地では急ピッチで仮設住宅が作られているが、多くは学校の校庭や公園の中であるため子供たちの遊び場が減少している。この状況を憂えた、スポーツと環境を考える特定非営利活動法人(NPO法人)グローバルスポーツアライアンス(GSA)副理事長である岡田直子さんは、狭いスペースでも楽しめるスポーツレクリエーションを提供する「スポレクやっぺし」というイベントを岩手県大船渡市で先週、開催した。そこに所狭くと、テントやスポーツレクリエーションのワークショップが設営された。ボールの的当て、ケンダマ、輪投げ、ミニ卓球、テーブルサッカーなど場所をとらない工夫したスポーツで、子供たちは梅雨が明けただけの暑い日差しの中、夢中になって遊んでいた。メインステージではリーグ、名古屋グランパスでプレーした清野乙彦さんがサッカーボールを使い、音楽に合わせてその場で多彩なフティングやトリックを行う「アートフットボール」を披露、子供たちにそのコツを教えた。

僕は仲間の基礎スキー・デモンストレーター、竹鼻健さんと河川敷の本々にスラックラインというロープを張り綱渡りを披露、一緒に子供たちの手を取って遊んだ。綱渡りは僕が現役時代からやっているスキーのトレーニングを兼ねた遊びで、支柱となる木々や電柱等があればどこでもできる。大人も子供も空中歩行しながら冒険心いっぱい楽しんだ。イベントが終わった後、サッカーボールで清野さんが行っていたトリックを一生懸命練習している子供たちがいた。彼らが所属する地元の少年サッカーチームの練習場はこの盛川の支流にあり、津波で流された。でも「アートフットボールだったらどこでも練習できる」と目を輝かせながらボールを蹴っていた。今回集まったゲストは子供の心を持ったまま大人になり、その技術を磨いた人たちがばかりだ。「どんな環境でも工夫次第で遊びも練習もできる」という伝えたいメッセージは届いたと思う。きっとここから将来のスター選手が生まれることを信じている。



2011年11月3日「第二回スポレクやっぺし！」



GSAのスタッフと、全国から集まる仲間たちはこの集まりが大好き！泊二日のボランティアキャンプを通じて精神の学びを持ち帰れるから。みんな武士道精神の塊、それがGSAであった。副理事長の岡田直子氏、事務局長の大窪健司氏(FCU理事)へのサポートを惜みなくしていきたいとOTTYは思うのでした。Oaa生徒たちへの模範となれるように勉強、勉強!